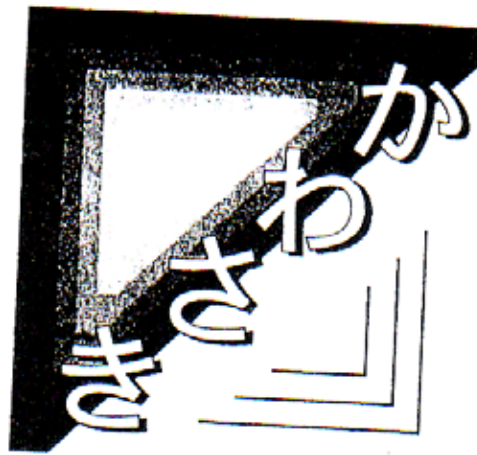


川崎市宮前区内を中心が高齢者介護などのボランティア活動をしている八人が集まり、介護保険制度の仕組みの解説や地域のサービス情報を集めた介護保険のガイドブック「タッチ(宮前区版)」を発行した。来春スタートする介護保険制度に向け、来月から「要介護認定」の申請が始まるが、情報不足に不安の声があるため「どんなサービスがどんな時に利用できるのか」などを、利用者の立場で分かりやすくまとめた力作。地域の介護情報を網羅したガイドブックは珍しく、行政や福祉関係者からも注目を集めている。



# 神奈川新聞

## 地域サービスの情報網羅 宮前区版のガイド「タッチ」刊行

ボランティア  
8人の力作  
1年間「足」で集める

### 介護保険



宮前区の介護サービス情報をまとめたガイドブック「タッチ」を編集した鈴木恵子さん(中央)ら

川崎・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生

「タッチ」をまとめたのは、在宅介護支援ボランティアすずの会代表の鈴木恵子さんら。それぞれボランティア活動で福祉に携わり、分散した地域の介護サービス情報を一つにまとめようと、昨春秋ごろから準備を始めた。人と人、心と心の触れ合いの意を込めて「タッチ」とし、「若い人の生活を豊かに」と副題をつけた。

内容は介護保険制度のポイントや認定申請からサービスの種類、川崎市の制度までを解説したほか、在宅・施設で必要なサービスの項目別に公的機関、ボランティア、民間業者を一覧表にしてサービス内容や連絡先などが一目で分かるようにした。相談窓口や医療機関も網羅した。

情報の範囲は、宮前区を中心に半径10以内を基本に、東京や横浜に出す地域の特徴から行政区を限定せず、できるだけ掲載。約一年間、すべて自分たちので施設や業者を回り、確かな情報を目指した。区内の町内会の回覧板で申し込みを受け付けたところ、口コミを含めてこれまでに約六百五十部が予約済みだという。代表の鈴木さんは「不備な点もまだまだ多いが、保険料など今後明らかになる情報なども随時盛り込んで、リニューアルを重ねていきたい」と話している。千五百部刊行。

「タッチ」はA4判、百六十四頁。印刷代などの実費千円(送料除く)で配布。書店や介護用品店などでも扱えるよう検討している。希望者はフックスまたは電話で鈴木さん(044-752-7307)、渡辺さん(044-997-3171)、森川さん(044-977-4908)へ(いずれもフックス兼用、電話は午後六〜九時)。